

市議会報

大野

No. 25

51. 6. 1

発行 大野市議会

TEL 6-1111

(内線 303)

印刷 松浦印刷所

3月定例市議会

昭和51年度当初予算など

32議案を可決・同意

一般会計 **37億2,034万円**

ごみ焼却場 2億1,286万円など……

3月定例会審議日程

- 11日 本会議 (会期の決定、各委員会委員の選任、議案上程、施政方針演説)
- 12日 本会議 (提案理由の説明)
- 15日 本会議 (代表質問、追加議案上程、説明)
- 16日 本会議 (一般質問)
- 17日 本会議 (一般質問、追加議案上程、説明、各案件委員会付託)
- 18日 委員会 (産業経済・建設常任委員会)
- 19日 委員会 (産業経済・建設常任委員会)
- 22日 委員会 (教育民生・総務常任委員会)
- 23日 委員会 (教育民生・総務常任委員会)
- 25日 本会議 (各委員長報告・質疑討論・採決)

第158回3月定例市議会は、3月11日招集され、会期25日までの15日間と定め、市長の施政方針演説(内容は市報に掲載済)があり、理事者から提出の議案32件、継続議案1件を慎重審議いたしました。その結果議案第18号大野食肉処理場条例を廃止する条例については閉会中も審査を要するとして、継続審査とし、他の32議案については、5議案を賛成多数で、27議案は全会一致で、それぞれ原案どおり可決・同意いたしました。

また、市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決め、3月25日閉会いたしました。なお市政に対する代表・一般質問が3日間にわたって行われました。



駅東公園 (有明町)

～ おもな議案 ～

▼昭和51年度大野市一般会計予算

予算総額は37億2,034万円。前年度対比で5.1%の伸び率であるが、県下7市中最低で誠に厳しい予算内容になっている。

歳出面においては、人件費、物件費、公債費、福祉関係等の義務的経費が増加し、前年度の8.1%の伸び率である。また建設事業は9億3,323万円の前年度の10.8%の伸び率を示しているものの、そのほとんどが都市計画事業等の継続事業をはじめ毎年継続して債務を負担しな

ければならない広域農道等の県工事負担金、学校用地買収費、圃場整備事業に伴う市の補助金等で占められており、年々増加の傾向にある。新規事業としては、ごみ焼却場の建設と富田小学校の体育館だけである。反面、歳入面においては、不況等により市税の増収は期待できず、国に依存している地方交付税についても、算定基準の改訂と西谷合併による優遇措置が終ったことにより前年度実績を下回ることとなり、そのため市債は前年度の約2.4倍の2億7,730万円を見込み、さら

に財政調整基金の取りくずしを行って収支のバランスをとるなど、ますます財政硬直化の兆しにある。今後市は収入の確保に努力するとともに、義務的経費を極力抑制して市民生活の安定と景気浮揚を図り、健全財政を基調として、全力を挙げて市政の発展に取り組むべきである。予算の主な内容は次のとおり

〔歳入〕

市税 9億7,678万円。地方譲与税 3,000万円。自動車取得税交付金 5,000万円。地方交付税10億5,850万円。交通安全対

策特別交付金 600万円。分担金及び負担金 5,862万円。使用料及び手数料 6,743万円。国庫支出金 6億 6,526万円。県支出金 2億 0,960万円。財産収入 781万円。寄付金 666万円。繰入金 1億 3,000万円。諸収入 1億 7,636万円。市債 2億 7,730万円など。

〔歳 出〕

バス路線維持補助金 240万円。有終会館改造工事 2,575万円（開成中学校旧校舎の改造）土地借地料 3,545万円。土地開発公社補償金 2,529万円。交通安全対策費 600万円（交差点改良、区画線、防護さく等）土地開発基金積立 1億 0,538万円。身障者職業訓練補助24万円。身障・老人・心身障害等の家庭奉仕員報償 428万円（5人分）身障者各種関係扶助および福祉手当 1,860万円。身障者・精薄者施設収容委託料 6,349万円。敬老会委託料 163万円。老人クラブ補助 381万円。老人医療費扶助1億4,457千円。老人措置費 8,264万円。小規模保育所補助56万円。児童手当 5,112万円。乳児医療扶助 181万円。保育所費 2億 3,554万円。私立保育所運営費補助 220万円。生活保護扶助 1億 3,091万円。成人病対策費 286万円。休日診療医師補助 200万円。県医学会総会補助80万円。国保会計繰出金 1,866万円。簡易水道会計繰出金 438万円。火葬場再燃炉改良工事 400万円。不燃物収集委託料 369万円。じん芥焼却炉改修工事 215万円。じんかい焼却場建設費 2億 1,286万円。焼却場建設補償金 1,138万円。農業近代化資金利子補給 302万円。県営牧場負担金 288万円。かん排受託工事 1,067万円（塚原・下黒谷）発電施設農道 416万円。市単土地改良事業 140万円。圃場整備事業補助 6,384万円。広域営農団地農道負担金 1,500万円。県営木本かん排負担金 848万円。県営一般農道負担金 440万円。塚原地区土地改良事業調査設計補助 303万円。第二次農業構造改善事業 1,988万円。森林病虫害防除 315万円。林業労務者対策 214万円。特用林産物流通改善対策事業補助 810万円（オウレン事業）林道鬼谷線開設 3,500万円。林道補修工事 300万円。広域林道法恩寺線負担金 288万円。市有林造林事業 1,758万円。第二次林業構造改善事業 4,544万円（千本杉線林道、拠点施設、協業施設等）商工会議所補助 228万円。織物工

業協同組合補助80万円。工場誘致奨励金 388万円。地下水再生施設利子補給補助 198万円。中小企業振興融資預託 1億 600万円。福井県繊維産業振興基金出せん金 100万円。城まつり委託料 135万円。商工中金預託 500万円。道路維持費 2,030万円。道路改良工事 7,578万円。道路舗装工事 4,702万円。除雪費 2,220万円。河川改良費 1,300万円。三番線改良工事 3,143万円（中野地係）三番線舗装工事 910万円。道路事業県工事負担金 2,400万円。北部土地区画整理事業会計繰出金 1,300万円。駅東公園整備 1,600万円。さくら公園整備 1,000万円。中野下水路工事 1,720万円。本町下水路工事 500万円。緑橋川改良・調査測量 690万円。大野地区消防組合負担金 1億 3,632万円。小・中学校教材費 2,437万円。東小学校（仮称）・南小学校建設積立金 5,672万円。富田小学校屋体改築工事 7,077万円。開成中学校校庭整備 135万円。上庄中学校自転車小屋 280万円。私立幼稚園補助 160万円。農林災害復旧費 1,746万円。土木災害復旧費 1,771万円。公債費 1億 2,785万円など。

国民健康保険税

32%のアップ

県下七市中最高の上げ幅

— 一般会計からの補てん

措置で税の軽減要望 —

▼昭和51年度大野市国民健康保険事業特別会計予算

予算総額10億 542万円。前年度に比して1億 9,138万円の増で23.5%の伸び率である。主な内容は医療費の値上げに伴うもの1億 6,967万円。高額療養費に伴うもの 1,238万円。人件費、物件費等の増に伴うもの 933万円などである。これに充てる財源として、税収入で昨年の32%増を見込み1億 858万円、国からの補助金1億 721万円、一般会計からの繰入金 1,866万円などである。昨年是一般会計から 4,318万円の繰り入れを行ったので、本年はこれに比して 2,452万円の減額となっている。極力一般会計からの繰り入れを行って税負担の軽減を図るよう要請した。

人権擁護委員に

松田 操氏を再推薦に同意

人権擁護委員の松田氏が、3月1

日で任期満了となったので、再推薦いたしたいと求められ、3月25日の本会議において、満場一致で再推薦に同意した。

大野市下裾第20号42番地
松田 操（明36. 10. 29生）

幼稚園保育料53%のアップ

◆父兄負担の是正

私立幼稚園の補助増額を

◆幼稚園教育の充実を

▼大野市幼稚園入園料、保育料徴収条例の一部を改正する条例

幼稚園保育料の額を4月1日から月額1,800円を2,300円に改正するもの。なおこの値上げに当っては幼稚園教育の充実と父兄負担の是正の意味から、私立幼稚園の補助を増額するよう要望した。

▼昭和50年度大野市一般会計補正予算

今回の補正では1億 7,286万円を追加して、44億 9,323万円となりました。

補正の主なものは次のとおり。

〔歳 出〕

過疎バス補助 259万円。財政調整基金積立金 1億 7,200万円。開成中建設基金利子積立金 213万円。土地開発基金利子積立金 208万円。聖和園増築事業補助 468万円。小規模保育所開設補助56万円。大門地区水道事業補助金 217万円。じんかい焼却場用地購入費 5,288万円。広域米生産流通総合改善事業補助追加分 2,722万円（大規模乾燥調製貯蔵施設）県単土地改良工事 166万円。県営事業負担金追加分 1,340万円（広域農道、木本かん排等の負担金で負担総額 4,816万円）特用林産物生産流通改善対策事業補助 973万円（オウレン植付、は種、生産施設）広域基幹林道法恩寺線負担金 360万円。工場誘致現地調査補助金 300万円。商店街路灯設置補助金 247万円。横枕堂本地区内基幹農道負担金 534万円。圃場整備区域内市道拡幅補償 572万円。県営事業負担金 785万円（七間線工事）六呂師小学校便所移転工事 220万円。富田小学校給水設備工事78万円。南小学校建設基金積立金 2,500万円など。

〔歳 入〕

市税 1,466万円。地方交付税 1億 6,977万円。交通安全対策特別交付金92万円。

県支出金 3,058万円。財産収入 659万円。繰入金 213万円。市債1億 140万円など。

▼大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の賦課割合を県下各市の実情にかんがみ、所得割を現行の $\frac{45}{100}$ を $\frac{52}{100}$ に、資産割 $\frac{15}{100}$ を $\frac{13}{100}$ に、均等割 $\frac{30}{100}$ を $\frac{25}{100}$ にそれぞれ改正するもの。

▼委員会委員の選任について

3月11日の本会議において、各委員会委員の任期満了による改選が行われ、次のとおり決定いたしました。

◎委員長 ○副委員長

・総務委員会

- ◎杉川 栄 ○西川 文人
- 石蔵 一郎 杉本 夏男
- 茨山 善三 角本 守
- 斎藤 秀雄

・産業経済委員会

- ◎高津 靖生 ○大葎原 登
- 脇本 義昭 金森 幸蔵
- 平間 源治 奥村 忠光

・建設委員会

- ◎安田 武雄 ○米村 武
- 石田 善徳 推井 清男
- 林 達也 山本 武

・教育民生委員会

- ◎宮本 弘 ○村中 清
- 兼井 藤波 山崎 正昭
- 栄 正夫 米村 喜六
- 高田 新左エ門

・議会運営委員会

- ◎林 達也 ○平間 源治
- 兼井 藤波 宮本 弘
- 杉川 栄 石田 善徳
- 奥村 忠光 山本 武

・真名川ダム・水資源対策特別委員会

- ◎石田 善徳 ○兼井 藤波
- 大葎原 登 西川 文人
- 山崎 正昭 村中 清
- 杉本 夏男 宮本 弘
- 杉川 栄 米村 喜六
- 推井 清男 高田 新左エ門

固定資産評価審査委員会委員

鳥田昭一氏選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち3月31日で任期満了となる野中治郎兵衛氏の後任委員として、鳥田昭



三月十五、十六、十七の三日間にわたり、議案に対する質疑ならびに代表・一般質問が行われ、十一名の方々が理事者に質問し、その外にも多数の方々が関連質問を行いました。その主なものは、地下水の問題、ごみ焼却場の問題、小学校の整備計画の問題、食肉処理場の問題に関するものなどでした。なおこれらの答弁には市長の外関係課長が当りました。

小学校整備の年次計画はどうか？

問 教育施設の整備については中学校の整備が一段落したので、今年から小学校の整備に重点をおいていきたいとのことだが、その年次計画と内容について伺いたい。

答 老朽校舎をはじめ、新しい東校、南校等の新築・改築に全力を挙げて取り組んでいきたいが、今後、小学校を年次的にどのように建設していくか財政的なメドはたてていない。ただ、東校、南校についてはすでに敷地も用意しており、苦しい財政中であるが、早く着工したいため積立金も用意してあるので、遅くとも53年には建設に着手したい。老朽校舎の改築については、本年度は富田小学校の講堂を予算化しているが、乾側・阪谷小学校等については今後十分計画を練り逐次改築していきたい。

問 市長は小学校の建設計画を今後検討して計画を練っていききたいとのことであるが、教育委員会としては建設計画をどのようにたてられるか。

答 過日、各小学校を視察した際、関係の方々から校舎の内部、その他についていろいろとご指摘を受けたので、補修に万全を期し、環境整備に努めてきているご指摘の抜本的な建設については、53年までに東小学校を、55年までに南小学校を、54年度には阪谷小学校を、55年度には乾側・下庄小学校という基本計画であ

一氏を選任したいとの提案があったので、3月25日の本会議において、満場一致で選任に同意した。

大野市不動堂第27号12番地

鳥田 昭一 (昭2. 11. 7生)

る。しかし、こうした諸情勢の中では、基本計画が即実施計画ということについては、いろいろと問題があるということも話しの中で多く出ているがこの点についても前向きに検討したい。

◇地下水のかん養対策◇

失われた地下水の権利

真名川本流に水を流す問題

政治生命をかけて

問 地下水のかん養対策として、真名川ダム建設に関連して懸案の真名川本流に水を流す問題は、その後どのようになっているか。

答 建設省等へ再三陳情しているがまだ結論が出ていない。将来の大野市の運命を左右する大きな問題であるので、私の政治生命をかけて、必ず真名川に水が流れるよう努力していきたい。

現在のごみ焼却場に関連して

近隣の被害補償を

どう考えているか

問 ごみ焼却場の建設に関連して新在家部落へ迷惑料等を支払っているが、その他近隣の部落に対するクラス等による被害の補償についてはどう考えているか。

答 市の責任であり、管理がずさんで迷惑をかけていることは誠に申し訳ないしかし補償となると、その種類、またいかなる範囲に補償するかが大変難しい問題である。新しい焼却場に移行するまでの間に十分検討して、なんらかの措置をしたい。

保育所の建設時期はいつか？ 希望者全員の入所を！

問 本年も保育所の入所希望者で、入所できなかった者が170人余りあるように聞いている。早急に保育所を新設願いたいと思うが………？

答 1,182人の入所申込に対して、措置した児童数は公・私立合わせて1,005人で、177人が入れなかった。しかしその中には、要措置に該当しない子供もあるとみている。家庭に残っている子供が遊び友達がいないという切実な問題もあるので、保育所の新設が必要であると思う。時期については地域の状況、県の建設のワク等の問題もあるので、十分に状況を調査して、熱意をもって早く実現できるよう努力していきたい。

ニッセキハウスの工場誘致 話し合いはどこまで 進んでいるか？

問 工場誘致の問題であるが、ニッセキハウスが当市へ進出してくると新聞に掲載されていたが、話し合いがどの程度まで進んでいるのか。

答 かねがね念願し、折衝していたニッセキハウスの工場が、地元のご理解とご協力を得て誘致する運びになってきている。この誘致については、地元とニッセキハウスの間に、立地についての覚書きが交換されている。今のところ52年9月には整地に入り、53年4月から工場の建設にかかり、53年10月には一部操業したいという工場側の希望である。

食肉処理場廃止については 業者との円満解決を要望

問 大野市食肉処理場廃止の条例が上程されているが、この問題は前回の議会に存続の陳情が業者から提出され、教育民生委員会が審議の結果、業者に十分理解を願って円満に解決するよう善処方を要望して、不採択とした。しかし話し合いが

解決されないまま廃止条例が提案されているが、今日までの経過等について伺いたい。

答 食肉処理場についてはかねてから運営等に非常な問題があつて、関係地係の住民をはじめ近隣周辺の部落から、早急に改善または撤去方を長年にわたって要望し続けられてきた。特に今回のごみ焼却場の建設をめぐる論議が白熱化し、ぜひ撤去して欲しいという強い要望である。市としても今後この食肉処理場を維持していく自信がなく、この9月末日をもって廃止したいので提案した。業者とは昨年の暮れ以来話し合いを重ねているが、結論的には解決していない。今後公害関連の施設、食肉処理場等については、県内においても広域合併、広域処理の方向にあり、広域的に嶺南、嶺北の2カ所になりつつある。当市も食肉処理に関しては福井市で受け入れてもらう了解も得ているので、今後は大野地区の分は福井市で処理されるよう希望している。今後とも業者と話し合いを重ねて十分理解を願ひ、決着をつけられるよう努力していきたい。

問 ごみ焼却場の建設と関連して、新在家部落との協定の中に食肉処理場を廃止するという協定がなされているのか。

答 ごみ焼却場の建設の過程において、ぜひ食肉処理場を撤去せよという地元から強い要求があり、時期については明示していないが、早い機会に撤去するという協定を結んである。

ごみ焼却場の機種決定は？ 見積を取っている段階 議会と十分相談の上決定

問 新しく建設予定のごみ焼却炉の機種決定に当たっては、前回の定例議会において「私の責任において早急に決定したい」と述べられていたが、何社から見積を取って、どのような形で、いつ決めたのか。

答 51年度予算が可決されれば、早速具体的に建設を進めていきたい。その準備段階として現在見積を徴収、その他の準備を進めている。見積は1社から取っている。まだ提出はされていない。機種

の選定に当たっては、十分ご理解を得られるよう説明をいたしたい。

問 1社の見積だけでは比較対照できない。数社に見積らせるのが至当ではないか。

答 見積を何社からも取るかどうかは決定していない。1社だけにこだわるつもりはないが、広域圏時代等を通じて長い間研究してきたので、炉の構造、耐久力、過去の実績をもった業者からまず見積を取るのも一方法であろうかと思つている。なお機種はまだ決定していないし契約も行っていない。疑惑がもたれないよう議会の各位とも十分相談していきたい。

問 何を基本にして予算を計上したか。

答 厚生省の単価、あるいは他の地区の単価を参考にし、仮りに入れてある。

問 ごみの質との関連で炉を決めていくべきと考えるが………。

答 水分の多いことも十分念頭に入れてある。この点に関しても委員会等で十分説明していきたい。

問 ごみ焼却場建設に際しては、公害が出ないように十分配慮して実施すべきと思うが………。

答 公害問題は最近の大きな問題である市としても公害源を出すことは大きな責任問題であり、絶対に公害のないよう万全の措置をとっていきたい。

発電量に対する新税を制定 していく考えはないか？

問 財源難の当市としては、新しい税源の発掘が必要である。そこで発電量に対する新税の制定を考えてはどうか。

答 新税の問題については、いろいろ各市町村で出ているが、今ご指摘の点についても今後十分検討していきたい。しかし、美浜町も同じように打ち出しているが、県の地方課では、電源開発促進税法と市町村が考えている発電税とは競合するため許可しないのではないかと判断しており、我々としても無理ではないかと考えている。今後とも新税については十分研究していきたい。

昭和49年度歳入・歳出決算を認定

決算審査特別委員会の報告

第157回12月定例市議会において設置された決算審査特別委員会は、1月22日より1月30日までの間、付託された議案第63号昭和49年度大野市歳入・歳出決算の認定についてを審査した結果、次の意見・要望を付して認定することに決したので報告いたします。

総合的な観点から申し上げますと、昭和49年度は、前年後期のオイルショック等で国の総需要抑制策が続けられ、経済の不況に見舞われ、当市も不安な財政運営を余儀なくされた中で、生活環境の整備教育、産業の振興等を重点に市民福祉の増進に努め、適正かつ効率的な予算執行であったと認められるものである。

特に収入状況は市民税をはじめ、各税とも適正な課税と徴収率の向上に努められたことには敬意を表するものである。今後とも健全財政を基調として積極的な市政運営を行い市民サービスにより一層努力を払われるよう強く要望した。

審査の過程で問題となった点は、

1. オウレン栽培の事業委託について、オウレンの現在の発育状態からみて、いまの場所で試験栽培を続けることは適当かどうか。今後理事者には効率的かつ効果的な事業推進のため、その立地条件等

を十分検討して地域変更を行うべきとの強い意見が出された。

2. 魚止め景勝地の施設整備事業について、昭和48年度以来相当額の投資がなされているが、現時点では入り口道路、駐車場、公衆便所の建設、また監査委員から指摘された階段部分の事故防止施設設置等いくつかの問題点が残されており、

これらの点も早く解消し観光客誘致に最善の努力を行うよう要望した。

3. 通学補助の問題。現在小学校費で18万円、中学校費で8万円、その外バス輸送による通学補助がされているが、現実にはそれ以上の距離から通学する児童、生徒があるにもかかわらず補助金が支給されていない。たとえ地元PTA等から要求がなくとも、教育の機会均等の見地から十分検討して善処するよう要望した

4. 各種団体に交付されている補助金の整理統合と運用の合理化について、今日まで繰り返し指摘してきたが、今もって改善されておられない。昨今の地方財政の厳しい折から慣例的な補助金は極力抑制し、今後十分検討、改善に努力するよう要望した。

昭和49年度 大野市各会計決算総括表

(単位 円)

会計別区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	
一般会計	3,613,561,000	3,598,481,378	3,497,464,676	101,016,702	
特別会計	国民健康保険	674,067,000	661,490,766	651,182,418	10,308,348
	簡易水道事業	39,208,000	40,220,382	38,726,581	1,493,801
	食肉処理場	1,416,000	1,559,892	1,224,257	335,635
	南部区画整理事業	3,410,000	7,562,197	3,153,142	4,409,055
	北部区画整理事業	216,561,000	183,400,594	174,321,918	9,078,676
合計	4,548,223,000	4,492,715,209	4,366,072,992	126,642,217	

委員会の活動

●建設委員会

—— 市道の改良、舗装は市民の願い 大幅な予算増額を要望 ——

付託された議案3件、請願8件、陳情4件については、請願1件を継続審査、陳情1件を不採択とした外は可決・採択。審査の過程で問題となった点は、①今回の土木費の予算は昭和50年度の最終予算の70%弱という極めて厳しいもので、意欲的な市政が全くうかがわれない。今日の不況下においてこそ積極的な予算編成を行い、景気浮揚と市民生活の安定を図ることが市の重大な責務である。特に市道の改良、舗装は市民生活の環境整備

と社会資本の整備の観点に立ち、市の最重要施策に掲げ今日まで実施してきた。しかるに今回の予算は果たして十分な土木事業が推進できる規模かどうか。市民の道路整備に対する要望は極めて強く、特に通勤、通学等日常生活に密接した道路の整備に対する要望は深刻なものがある。かかる点を十分認識の上、早急に補正予算における大幅な増額を強く要望した。また今後の執行に当たっては適正な発注、早期着工、期間内完成を期するよう併せて要望した。②市街地の水路改修について、市は地下水保全のための道路融雪の節水と呼びかけ、人力による除雪を行うよう指導しているが、これら除雪に必要な水路が市街地全域にわたって著しく傷んでいる。このことは先般の委員長の報告でも指摘したところである。昨年度まで継続して水路の改修を実施して

きたが、今回の予算には全く計上されていないので、早急に補正予算において十分配慮方を要望した。

●総務委員会

—— 市民会館の内容充実を要望 ——

付託された議案13件、陳情2件については、陳情1件を継続審査とした外は可決・採択。

審査の過程で問題となった点は、今回市民会館の使用料値上げが提案されているが、今後の運営執行に当たっては施設改善に力を入れ、内容充実に努めるとともに社会福祉、社会教育、公共団体等の負担増にならないよう、使用料減免措置に特別の配慮方を強く要望した。

●産業経済委員会

—— 地下水の再生施設に

助成金の方向で検討要望 ——

付託された議案7件、陳情2件については、陳情2件を継続審査とした外は可決。

審議の過程で問題となった点は、①企業が行う地下水再生施設の設置問題である。今回の予算にも融資預託金のワク、9,000万円と利子補給2.5%の198万円が計上されているが、企業者も一昨年来不況に見舞われ、昨年度も融資制度を実施しながら一社の申し込みもなかった状況である。施設設置の協力を呼びかけても、これが生産に結びつかない現実の中で、本年も果たして利用されるかどうかの際、農林業振興対策について助成しているように、商工業の発展と地下水の合理的利用を図るために助成を行い、年次的、計画的に地下水再生施設の設置を促進するよう強く要望した。

②工場誘致の問題である。このほど計画されている塚原地区および麻生島地区への工場誘致に当たっては、農振地区除外農地転用等いくつかの問題点が残されている。昭和46年に中津川地区が受けている農村工業導入地域指定をこの両地区に変更し、市の発展のため市長の政治生命をかけて積極的な工場誘致に努力するよう要望した。

●教育民生委員会

—— 国民健康保険税の軽減のため

一般会計の繰入を要望 ——

付託された議案12件については、1件を継続審査とした外は可決。

議案第2号国民健康保険事業特別会計予算案についての審議の中で、国保税の引き上げが非常に高く、その率は県下7市中最高である。国保会計は独立が立前ではあるが、市民生活に及ぼす影響は極めて大きいので、国・県に対して国民健康保険制度の抜本改正を呼びかけるとともに、一般会計からの繰り出しを極力行い税の軽減に努められたい。また弱者救済の立場から賦課税率についても再検討を強く要望した。さらに一般会計から繰り出しについては、国保会計の決算時になって収支に赤字が生じなかったという理由で、繰り出しをとりやめることは納得できない。当然繰り出しを行って税を軽減する等、今後至当な運営を強く要望して本案を可とした。

議案第18号大野市食肉処理場条例を廃止する条例案について、現在の食肉処理場の状況は極めて不衛生で近隣等の公害問題に大きく発展している。このことは市のずさんな管理、運営、企業者に対する指導の不徹底にも大きな原因がある。しかし今日の段階に至って、この施設を改善しても果たして存続が可能かどうか昨年12月の委員長報告も十分踏まえて、

この廃止が市民生活に及ぼす影響と酪農農業者に対する振興対策等の問題を十分調査をするとともに、食肉業者と積極的話し合いをするよう要望し、閉会中も慎重なる審査を要するとして継続審査とした。

審議の過程で問題となった点は、①青少年の非行を防止して、その健全な育成を図るため、また市民の健康増進のためにもスポーツの振興は極めて大切なことである。しかし当市は社会体育施設が極めて貧弱であり、多くは学校施設に依存している。従って陽明中学校のグラウンドに夜間照明施設を整備するよう、6月補正を全委員から強く要望されたので、理事者においては十分配慮するよう要望した。②ごみ焼却場の建設問題について議会の議決の前に仮契約がなされているのではないかと。また適正な処理手続きがなされていないのではないかと等について理事者に正したところ、市民に疑惑もたれることは一切行っていない。仮契約の事実もない。今後は責任をもって厳正公正なる態度で取り組みたいとのことで委員会もこれを了とし、理事者に対して今後問題を残すことのないよう万全を期するとともに、執行に当たっては、市民の不信を招くことのないよう細心の注意を払い、適正な発注と早期着工、期間内完成を期するよう強く要望した。

請願・陳情

12月定例市議会で継続審査となった陳情1件、3月定例市議会で新しく提出された請願・陳情15件は、各委員会で審査され、委員長から本会議に報告して、次のように決定しました。

採択したもの

- 区道の市道昇格と拡幅について
森目区長 松田庄二外19名
- 市道の舗装について
飯降区長 木下数馬外17名
- 市道の舗装について
深井区長 富田喜重外19名

●市道の改良・舗装について

下麻生島区長 竹田一男外2名

●市道の認定について

下麻生島区長 竹田一男外2名

●市道の拡幅について

稲郷区長 石黒又栄外11名

●市道の改修について

下唯野区長 細川 勉外27名

●市道の舗装について

田野区総代 坪内清之助外2名

●市道の拡幅について

平沢区長 森広利久外10名

●市道への認定について

矢区長 清水 栄外26名

継続審査となったもの

●私道の市道編入及び舗装について

春日三丁目上区長 山崎次郎外38名

●森目線の存続について

富田地区区長会長 細川勉外4区長

●畜産振興対策について

新興酪農生産組合長 村西幸一外3名

●市有地の払い下げについて

元町2番16号 竹田武男

不採択となったもの

●南部区画整理事業による補償について

日吉町24番6号 池田泰三

●区画整理事業による補償について

●開成中学校旧校舎の無償払い下げについて

伏石区長 多田双太